

防災学習指導案（防災ノート 高校生版）

1. 本時の題材 「突然風水害が起こったら・風水害からの復旧活動を知ろう」
(防災ノートP 11、12)
2. 本時の目標
 - ・突然の風水害によって引き起こされる災害の危険について理解することができる。
 - ・危険があった時に、安全に避難する方法を考えることができる。
 - ・風水害からの復旧活動について理解することができる。
3. 準備物
防災ノート、指導者用防災ノート、パソコン、プロジェクターなど

4. 本時の指導

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>本時の目標を確認する。</p> <p style="text-align: center;"><本時の目標></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 風水害の危険を知り、風水害からの身の守り方を考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災週間等について確認する。 ・三重県で過去に発生した伊勢湾台風や紀伊半島大水害等についてふれる。 ・風水害被害を回避する方法について学習することを告げる。
展 開	<p>1. 風水害の実際を知り、危険を回避する方法を考える。(P 11)</p> <p>2. 風水害からの復旧活動について知り、自分たちができていることを考える。(P 12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業者の説明を聞くだけでなく、ペアやグループでの対話や、ノートへの書き込みの時間を取る。 ・紀伊半島大水害の画像等、過去の風水害の事故事例を紹介する。 ・学校周辺や地域での危険個所がないか、あらかじめ調べて紹介する。 ・側溝や用水路等との境がなくなり転落する危険について強調する。 ・特に生徒に注意喚起したいことは、スライド写真などを使って伝える。 ・復旧活動のボランティアをした生徒の体験談を紹介する。 ・復旧活動や災害ボランティア活動には危険が伴うので、参加する際の注意事項を指摘しておく。 ・「災害が起きたら自分や家族、家や街はどうなるのか」をイメージし、災害を「自分事」として考えられるようにする。

ま と め	<p>本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや自分の思いを書かせる。 ・感想を発表させる。 ・過去の風水害の実際事例や危険回避の方法についての再確認を行うとともに、復旧活動・ボランティア活動等、主体的な行動を呼びかける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ワークシートを持ち帰らせ、家族と防災について話し合う機会を設けると、防災意識のさらなる向上につながり、効果的である。</p> </div>
-------------	--------------------	---

5. 評価の視点

- ・台風等による風水害から身を守る方法を理解することができたか。
- ・災害からの復旧活動の留意点等を理解するとともに、自ら進んで復旧活動に参画しようとする意欲を持つことができたか。